

憧れの先輩医師に囲まれて
日々成長する2年間を送りたい



DOCTOR

中国労災病院
初期臨床研修医 1年

菅 裕美子

Yumiko Kan

福岡県出身 広島大学医学部 2015年卒

現在、外科をローテーション中。台風や地震など大きな災害が少ない穏やかな瀬戸内気候で暮らしやすいことも研修を充実させる大事な要素。楽しみは、当日の日に前中で食べる広島のお好み焼き!

私は8月6日生まれ。被爆した経験を持つ祖母にとって、それはどんなに辛い日だったでしょう。でも祖母は「あなたが生まれたことで、辛い思い出が嬉しい日に変わったわ」と言っていて、私の誕生日を毎年祝ってくれました。人が産まれるって、本当にすごいことなんだと幼い頃から実感。だから、健康を支える医療の仕事、そして、人が産まれる瞬間に立ち会う産婦人科にも興味がありました。

在学中、年間700〜750例の分娩を扱い、周産期医療の充実が知られているこの病院で実習を希望しました。実習中、責任を持って患者さんを診る研修医の先輩たちを見て「こんな研修医に私もなりたい!」と学生時代にここで研修したいと決めていました。

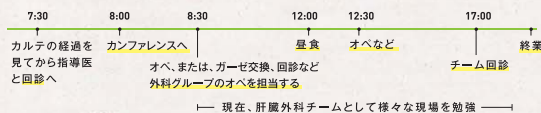
ドクターヘリからの搬送も多く、救急外来数は年間15000件、救急搬送数は4000件弱と、県下有数の実績があります。研修医もとても忙しい病院ではありますが、今後どんな科を専門にしようと、総合的に診る力をつけられることも決めの一つでした。

春に研修が始まってすぐ祖母に会いに行く。「裕美子がんばってるんじゃない?」「長生きせんといけん」と、私の成長を楽しみにしてくれ、

ON



On Time 研修医の1日



指導医の声 消化器外科 部長 先本秀人 先生 ●さきもと ひでと

菅先生は指導医、後期研修医と3人体制の肝臓外科チームで救急外来や外科のオペに参加。朝から晩までとても忙しいですが、ここで2年がばれば離島や山間部で一人でも総合的に診られる力がつきますから、がんばってほしいですね。病院全体で応援している期待の新人! 夏休みは海外旅行がオススメです! OFFを十分に満喫し、リフレッシュして後半も集中して研修に励んでください。



同期の仲間と飲み会したり、呉のお気に入りの喫茶店でコーヒータ임을ゆったり過ごしたりして、リフレッシュしています!

元気の源は
喫茶店の珈琲!



広島市内で助産師を務める姉と祖母に誕生日を祝ってもらいました!



大学のバレーボール部の合宿に参加できました!

OFF

より健康に気を遣っているようにでした。祖母にも、ここに通ってくださる患者さんにも、お世話になった先輩たちにも成長した姿を見てもらえるように、毎日を充実させるのが今の目標です。

慣れることで精一杯な日々がまだまだ続きそうですが、同期6人の仲の良さはもちろん、2年目の先輩たちがとてもよく面倒を見てくれます。私も来年、1年目の人にアドバイスできるようにと、今から背筋が伸びる思いです。医局にいる先生、スタッフの皆さんが研修医をいつも気にかけてくださるアットホームさも、見学に来てもらえたらきっと感じてもらえると思います。1、2年目を合わせると十数名いる初期研修医の様子も、見に来てくださいね!

労働者健康福祉機構
中国労災病院

〒737-0193 広島県呉市広多賀谷1-5-1
TEL: 0823-72-7171 FAX: 0823-74-0371
E-mail: kenpro@chugokuh.rofuku.go.jp

Hospital Director:
榎野 新

■病床数: 410床
■指導医: 45名
■初期研修医: 14名



http://www.chugokuh.rofuku.go.jp/